

事業所名

チャイルドサポートみやこⅢ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念		全社員及びその家族の物心両面の幸せを追求する。謙虚にしておごらず人格を高め地域社会に貢献する。							
支援方針		ビザライに関わるすべての人の「笑顔」を増やす。							
営業時間		9時	30分	16時	30分	送迎実施の有無	あり なし		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善を行い、生活リズムや生活習慣の形成を行う。基本的な生活スキル(衣服の着脱、排泄等)の獲得を目指す。料理やおかし作りなどを通して食育やマナーを学ぶ機会を提供、マナーの習得に繋げる。事業所のスケジュールに応じた行動や場面の切り替えがスムーズに行えるように掲示物などの張り出し、利用児のスキルに合わせた促しを行う。清掃活動や洗濯等で自身の身の回りを清潔にする大切さを知る。							
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上。姿勢と運動、動作の補助。手段の活用。保有する感覚の総合的な活用を体得する。リズム体操やリトミック、サーキットなどを通じた運動療育を実施。視覚や聴覚、食感を刺激するようなゲームやクイズを遊びを通して提供する。クールダウンできる空間をつくり、感覚過敏な子に配慮した環境設定を行う。							
	認知・行動	認知の発達と行動の習得。空間、時間、数などの概念形成の習得。対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指す。ブロックや廃材を使用し、立体的な創造物を使った創作活動を行う。カラオケや音楽、リズムを使って五感を刺激する活動を実施する。							
	言語 コミュニケーション	認知の発達と行動の習得。空間、時間、数などの概念形成の習得。対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指す。考えを発表したり好きなことをプレゼンテーションする。伝言ゲームや早口言葉を用いたゲーム。生活の中で起こる事柄に対してロールプレイングを実施する。							
	人間関係 社会性	言語の形成と活用、言語の受容及び表出を行う。コミュニケーションの基礎的な能力の向上を目指し、コミュニケーション手段の選択と活用を実践することができるよう支援する。ごっこ遊びや模擬店などで、役割分担、ルールを守ることを知り、徐々に社会性の発達を支援する。人との関係性を築くSSTカードを行う。							
家族支援		両親の就労のため、利用時間延長サービスを提供。 (8:00~9:00) <月~土> 17:00~18:00 <月~土> 送迎の希望に関しては、事業所の所有する車両により利用児の自宅と事業所との間、又は学校から事業所までの送迎を行っていきます。 サポートが必要なご家庭に関しては、包括的な支援を行うため、保護者と児童の関係機関と連携し情報の共有を行う。 必要に応じ受診同行を行い、保護者と連携し体調管理を行なう事で安定した通所に繋げる。保護者参加型のイベントを通して保護者同士の繋がらや児童、スタッフとの関わりを通して安心して困り感を伝える事ができる関係性作り。			移行支援		児童館の行事に参加をし、交流している。また、子ども食堂へ行き、調理手伝いを行う事で地域の児童や地域の方との関わりをもっている。		
地域支援・地域連携		事業所の周辺の清掃活動をしている。屋外活動を行う事で、地域の方と関わりを持つ事が出来ている			職員の質の向上		事業所内での持ち回り勉強会の実施、外部研修への参加を通して知識を増やし、支援の質の向上を図っている。児童の支援に必要な他事業所との連携を密に行なう事で、包括的な支援を行っている		
主な行事等		毎月誕生日会、七夕集会、夏祭り、、交通安全、みやくるるフェスティバル、ハロウィン、家族参加型イベント、クリスマス会、節分等							